

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

| | | | | | | |
|-------------|--|---------|------------|----------------------|--|--|
| ①対象者 | 2016年12月～2017年10月に脾臓の腫瘍性病変に対して超音波内視鏡下吸引細胞診：EUS-FNAを行った方。 | | | | | |
| ②研究課題名 | 脾腫瘍に対する標準22G針を用いたEUS-FNAにおける高吸引圧と通常吸引圧の比較検討 | | | | | |
| ③実施予定期間 | 承認日～2018年12月 | | | | | |
| ④実施機関 | 静岡がんセンター | | | | | |
| ⑤研究代表者 | 氏名 | 石渡裕俊 | 所属 | 静岡がんセンター 内視鏡科 | | |
| ⑥当院の研究代表者 | 氏名 | 石渡裕俊 | 所属 | 静岡がんセンター 内視鏡科 | | |
| ⑦使用する検体・データ | 電子カルテ情報 | | | | | |
| ⑧目的 | EUS-FNAは脾腫瘍に対する標準的な検体採取法で、得られた検体（組織）を使って癌かどうかなどの検査・診断を行うことができます。しかし、現在の方法で得られる検体の量は多くなく、より沢山の検体を得られる方法が求められています。当院では、検体採取の時に通常よりも高い吸引圧をかけることでより多くの検体を得られる可能性があると考えています。この研究は通常吸引圧の検査と高吸引圧の検査を比較し、有益性を明らかにすることを目的としています。採取できる検体量を増やすことができれば、診断能の向上や、今より詳しい検査ができる可能性があります。 | | | | | |
| ⑨方法 | 脾腫瘍に対してEUS-FNAを行なった患者さんの診療録から必要な情報を収集し、解析を行います。あらたに追加検査を行うことはありません。 | | | | | |
| ⑩倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | | 2017年12月5日 | | | |
| ⑪公表 | 研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。 | | | | | |
| ⑫プライバシー | 本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。 | | | | | |
| ⑬知的財産権 | 知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。 | | | | | |
| ⑭利益相反 | 本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。 | | | | | |
| ⑮資料の参照 | 本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。 | | | | | |
| ⑯問い合わせ | 連絡先 | 臨床研究事務局 | 電話 | 055-989-5222（内線3379） | | |
| | 事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 | | | | | |
| | 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。 | | | | | |

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。